

主題：神の奥義の執事

メッセージ 19

キリストのからだとしての召会を建造するための ミングリングされた霊と三一の神の分与

聖書：エペソ 1:17, 2:10, 15, 3:16-19, 4:3-6, 11-16, 5:2, 8-9, 26-27, 6:10-13, 17-18

- I. エペソ人への手紙の各章は、ミングリングされた霊（再生されて、複合の、すべてを含む、究極的に完成された霊が内住するわたしたちの人の霊）を啓示しています。わたしたちは霊に戻り、霊を活用するとき、からだに触れます。なぜなら、からだはわたしたちの霊の中にあるからです：
- A. エペソ第 1 章 17 節は、わたしたちが知恵と啓示の霊を求めて祈り、神のエコノミーを見なければならぬことを啓示しています。神のエコノミーとは、神の奥義としてのキリストを神の選びの民の中に分与して、彼らをキリストの奥義としてのキリストのからだの実際とすることです—— 18 節, 3:9, 5:32, 6:19, コロサイ 2:2。
 - B. エペソ第 2 章 22 節は、わたしたちの霊が神の住まいであることを啓示しています。わたしたちは「共に建造されて、霊の中にある神の住まいへと至るのです」。
 - C. エペソ第 3 章 5 節は、ミングリングされた霊が、キリストと召会の啓示が使徒たちと預言者たちに啓示される手段であることを啓示しています。
 - D. エペソ第 3 章 16 節は、わたしたちの霊が内なる人、新しいパーソン、新しい霊、新しい人であることを啓示しています。わたしたちはからだの生活の実際のために、祈り、力をもって内なる人の中へと増強される必要があります。からだの生活の実際とは、召会における神の栄光のための、命としての内住のキリストの内なる経験です—— 16-21。
 - E. エペソ第 4 章 23 節は、更新する霊がわたしたちの再生された霊とミングリングされて、わたしたちの思いの霊となるようにしなければならないことを啓示しています。それによってわたしたちは、日ごとに新しくされて、新しい人としてのキリストのからだの実際のために、新エルサレムのように新しくなることができます—— 24 節, テトス 3:5, II コリント 4:16, コロサイ 3:10-11。
 - F. エペソ第 5 章 18 節は、わたしたちが、わたしたちの霊とミングリングされた、美しくし、花嫁を用意する霊で満たされなければならないことを啓示しています。それによってわたしたちは、用意されてキリストの栄光の召会、彼の美しい花嫁、神の美の家となり、神を表現します—— 26-27 節, イザヤ 60:7, 19, 62:3, 創 1:26。
 - G. エペソ第 6 章 18 節は、わたしたちがどんな時にも霊の中で祈り、わたしたちの霊とミングリングされた殺す霊を経験しなければならないことを啓示しています。このようにして、神の敵のあらゆるものはわたしたちの内側で殺されて、神の統治のために、わたしたちがサタン、罪、死に対して、その霊の神聖な命の中で支配することができるようにします—— 17-18 節。
- II. エペソ人への手紙の各章は、キリストのからだとしての召会の産出、存在、成長、建

造、戦いが、神聖なエコノミー、すなわち、三一の神をキリストのからだの肢体の中に分与することから成っていることを啓示しています：

- A. エペソ第 1 章が明らかにしているのは、父なる神が永遠においてこれらの肢体を選び、あらかじめ定めたこと（3-6 節）、子なる神が彼らを贖ったこと（7-12 節）、霊なる神が、担保として、彼らに証印を押し（13-14 節）、こうしてご自身を彼の信者たちの中に分け与えて、召会を形成することです。召会はキリストのからだであり、すべての中ですべてを満たしている方の豊満です（18-23 節）。
- B. エペソ第 2 章が見せているのは、神聖な三一の中ですべての信者が、ユダヤ人も異邦人も、子なる神を通して、霊なる神の中で、父なる神に近づくということです（18 節）。これは、肉体と成ること、人の生活、十字架、復活のすべての手順の後でさえ、三者が同時に同存し、相互内在することを示します。
- C. エペソ第 3 章が語っているのは、父なる神が、信者たちが霊なる神を通して彼らの内なる人の中へと増強されるようにし、キリスト、すなわち子なる神が彼らの心の中にご自身のホームを造り、すなわち、彼らの全存在を占有し、彼らが満たされて、神の全豊満へと至るとということです（14-19 節）。これは、信者たちが神聖な三一における神を経験し、彼にあずかることの絶頂です。
- D. エペソ第 4 章が描写しているのは、その霊、主、御父としての手順を経た神が、どのようにしてキリストのからだとミングリングされ（4-6 節）、それによってすべての肢体が神聖な三一を経験するかということです。
- E. エペソ第 5 章が勧告しているのは、信者たちが霊なる神の歌をもって、主、子なる神を賛美し、子なる神である主イエス・キリストの御名の中で、父なる神に感謝をささげるようにということです（19-20 節）。これは、神聖な三一における手順を経た神を賛美し、彼に感謝して、三一の神としての彼を享受することです。
- F. エペソ第 6 章が教えているのは、主、子なる神の中で力づけられることによって霊の戦いをし、神のすべての武具を身に着け、霊なる神の剣を用いるということです。これは、霊的な戦いにおいてさえ、わたしたちが三一の神を経験し享受することです—— 10-11, 17 節。

Ⅲ. エペソ人への手紙の各章は、三一の神の有機体としてのキリストのからだの奥義を、特別な視点から明らかにしています：

- A. エペソ第 1 章は、キリストのからだは、手順を経た三一の分与と超越したキリストの伝達の結果であることを啓示しています：
 - 1. 選びとあらかじめ定めることにおける御父の分与は、聖別における彼の家としての多くの子たちという結果になります—— 3-6 節。
 - 2. 贖いと救いにおける御子の分与は、造り変えにおける神の嗣業としての信者たちという結果になります—— 7-12 節。
 - 3. 証印を押しと担保を入れることにおけるその霊の分与は、信者たちの嗣業としての神という結果になり、彼らの完成へと至ります—— 13-14 節。
 - 4. 起きて昇天することにおける超越したキリストの伝達は、彼の表現としてのからだという結果になり、信者たちの究極的完成へと至ります—— 19-23 節。
- B. エペソ第 2 章は、キリストのからだは、新しい人としての三一の神の傑作であるこ

とを啓示しています—— 10, 15-16 節：

1. キリストは十字架上で、数々の規定から成っている戒めの律法、すなわち、人類を分裂させる生活と礼拝のすべての形態を彼の肉体の中で廃棄することによって、ご自身の中で新しい人を創造しました—— 14-15 節。
 2. この世の人々は、文化の違いを威光の源と考えていますが、一人の新しい人としてのキリストのからだの中で、わたしたちはこの威光を失っています。今やわたしたちの唯一の威光は、キリストと真の一です—— 4:3-4 前半。
 3. 一人の新しい人にはただひとりのパースン、すなわち、すべてを含むキリストがいます。この一人の新しい人には一つの口があって、一つ思いで同じ事を語りま—— コロサイ 1:18 後半, 3:10-11, エペソ 2:15, ローマ 15:6, I コリント 1:10。
- C. エペソ第 3 章は、わたしたちがキリストの豊富で供給されることによって、またキリストがわたしたちの心の中にご自身のホームを造ることによって、キリストのからだは、三一の神の豊満であることを啓示しています—— 8, 14-19 節：
1. 神にはエコノミーがあり、それはキリストの計り知れない豊富をわたしたちの存在の中に分配して、わたしたちが彼の豊満、彼の表現となるということです—— 2, 7-9, 19 節。
 2. わたしたちは日ごとに祈って内なる人の中へと増強され、三一の神が彼の唯一の働きを遂行し、ご自身をキリストの中でわたしたちの心の中に建造し込み、彼がわたしたちの内在的な構成となり、神と人の相互の住まいとなることを必要とします—— 16-17 節, ヨハネ 14:23。
- D. エペソ第 4 章は、キリストのからだは、手順を経た三一の神と再生された信者たちとのミングリングであること、この一つからだが一つ務めによって建造されることを啓示しています：
1. 一つ霊、一つ主、一つ父なる神は、信者たちと共にミングリングされて、一つの実体となり、キリストの有機的なからだとなります—— 4-6 節。
 2. キリストのからだは一つの務めによって建造されます。一つの務めはわたしたちを成就してすべての事で、かしらであるキリストの中へと成長し込ませ、この方から機能し、からだを供給して、愛の中でそれ自身を建て上げるに至ります—— 11-16 節。
- E. エペソ第 5 章は、キリストのからだは光の子供たちから成り、キリストの花嫁であってキリストを満足させることを啓示しています：
1. わたしたちはかつて暗かっただけでなく、暗やみそのものでもありました。なぜなら、わたしたちはサタンと一であったからです。今やわたしたちは光の子供たちであるだけでなく、光そのものです。なぜなら、わたしたちは主の中で神と一であるからです—— 8 節, マタイ 5:14。
 2. 燭台が表徴するのは、三一の神の複製としての召会が、生ける金の木であり、輝く光としての復活の命をもって花が咲き、それは光の実であり、三一の神の満ち満ちた表現のためであるということです—— 出 25:31-34, 民 17:8, 啓 1:11-12, エペソ 5:9, ガラテヤ 5:22。
 3. わたしたちは光の子供たちとして、愛と光の中を歩き、命を与える霊が、言葉の

中の水の洗いによってわたしたちを聖化し、清めることにより、用意されてキリストの栄光の花嫁となります——エペソ 5:2, 8, 18, 26-27。

F. エペソ第 6 章は、キリストのからだが三一の神の団体の戦士であり、神の敵を打ち破るためであることを啓示しています：

1. 霊的な戦いは個人の事柄ではなく、からだの事柄です。からだとしての召会は団体の戦士であり、団体の戦士だけが神のすべての武具を着ることができます——10-20 節。参照、マタイ 16:18。
2. すべての戦いは、サタンの意志と神のみこころとの間の争いにその源があります。わたしたちは苦難を通してキリストによって自分の意志が征服され、造り変えられるようにしなければなりません。それによってそれは、キリストの頭首権に服従し、神のみこころを選び、復活におけるキリストの防御する力において豊富になります——イザヤ 14:12-14. マタイ 6:10. 26:42. ピリピ 2:13. 雅 4:1, 4. 7:4 前半, 5。
3. 祈りは唯一の決定的な手段であり、それによってわたしたちは神のすべての武具を適用し、神の武具のあらゆる項目を、わたしたちに有用になるようにします——エペソ 6:18。